

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育実習指導 I B	演習	1 単位	岡田 強志・林 幹士

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

授業のテーマ: 保育実習 I B に参加するために必要な事項を学ぶ。

到達目標:

- ・保育実習 I B の意義、目的、内容を説明できる。
- ・実習記録・指導案の書き方を修得し、記述することができる。
- ・実習に必要な心構えを身につけて、実習を実行できる。

【授業の概要】

保育実習 I B が円滑に実施できるよう、理論と実践の両方の側面から準備を行う。各自の課題を確認しながら、講義と演習を通して、保育力の向上をめざす。保育実習 I B 対象の施設理解や対象者を理解しようとすることを目指す。保育実習 I B に取り組むための心構えをする。

【全体の授業計画・内容】

1. 保育実習 I B の意義、目的、内容(担当: 林)

事前学修課題: シラバスを熟読し、関係した情報を収集する。【0.5 時間】

事後学修課題: 配布された資料を各自でまとめて理解する。【0.5 時間】

2. 実習施設における事前打ち合わせについて、必要書類についての説明(担当: 林)

事前学修課題: 実習施設について、調べておく。【0.5 時間】

事後学修課題: 事前打ち合わせに必要な書類を準備する。【0.5 時間】

3. 実習施設について・実習の心構え(担当: 岡田)

事前学修課題: 実習施設について、理解しておく。【0.5 時間】

事後学修課題: 実習の心構えについて再度確認する。【0.5 時間】

4. 実習記録について(担当: 林)

事前学修課題: 実習記録に関する箇所のテキストを読んでおく。【0.5 時間】

事後学修課題: 実習記録を書いてみる。【0.5 時間】

5. 児童養護施設の実習について(担当: 岡田)

事前学修課題: 児童養護施設に関する箇所のテキストを読んでおく。【0.5 時間】

事後学修課題: 児童養護施設について、まとめる。【0.5 時間】

6. 乳児院の実習について(担当: 岡田)

事前学修課題: 乳児院に関する箇所のテキストを読んでおく。【0.5 時間】

事後学修課題: 乳児院について、まとめる。【0.5 時間】

7. 障がい福祉サービス事業所の実習について(担当: 岡田)

事前学修課題: 障がい福祉サービス事業所に関する箇所のテキストを読んでおく。【0.5 時間】

事後学修課題: 障がい福祉サービス事業所について、まとめる。【0.5 時間】

8. 障がい児入所施設の実習について(担当: 岡田)

事前学修課題: 障がい児入所施設に関する箇所のテキストを読んでおく。【0.5 時間】

事後学修課題: 障がい児入所施設について、まとめる。【0.5 時間】

9. 児童発達支援センターの実習について(担当:林)

事前学修課題:児童発達支援センターに関する箇所のテキストを読んでおく。【0.5 時間】

事後学修課題:児童発達支援センターについて、まとめる。【0.5 時間】

10. 実習直前指導について(担当:林)

事前学修課題:これまでのまとめを再度確認する。【0.5 時間】

事後学修課題:実習に向けての準備を行う。【0.5 時間】

11. 実習施設へのお礼状作成(担当:岡田・林)

事前学修課題:お礼状作成に関する箇所のテキストを読んでおく。【0.5 時間】

事後学修課題:実習施設にお礼状を郵送する。【0.5 時間】

12. 実習報告書の作成(担当:岡田・林)

事前学修課題:実習での記録をまとめておく。【0.5 時間】

事後学修課題:実習報告会にむけて、作成した報告書をもとに報告の練習を行う。【0.5 時間】

13. 実習報告会(児童を対象とした施設)(担当:岡田・林)

事前学修課題:実習報告会で報告すべき事項について確認をしておく。【0.5 時間】

事後学修課題:実習報告会で報告された、他の実習生の発表についてまとめる。【0.5 時間】

14. 実習報告会(成人を対象とした施設)(担当:岡田・林)

事前学修課題:実習報告会で報告すべき事項について確認をしておく。【0.5 時間】

事後学修課題:実習報告会で報告された、他の実習生の発表についてまとめる。【0.5 時間】

15. 試験およびまとめ(担当:岡田・林)

事前学修課題:これまでの授業で学んだことをまとめる。【0.5 時間】

事後学修課題:保育実習 I B における課題の確認を行う。【0.5 時間】

【学習のあり方】

自分で工夫しながら、実習記録や指導案を立ててみる。テキストを読み、施設理解や対象者を理解しようとすること。実習を通して自分の課題を確認し、不足部分を次の実習までに克服できるように、勉強を重ねていく。

【成績評価】

提出物(100%)により評価する。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

提出物や保育実習 I B の成績評価をもとに個別面談を実施し、つぎの実習での課題を明確化する。

【テキスト】

岡本 幹彦他『福祉施設実習ハンドブック』みらい

久富 陽子他『幼稚園・保育所実習 指導計画の考え方・立て方』萌文書林

【参考文献】

適宜紹介する。

【実務経験の有無】

児童養護施設における保育者としての経験をいかし、施設における保育者としての実践的な学びについて指導する。(岡田)

学童保育所における保育者としての経験をいかし、施設における保育者としての実践的な学びについて指導する。(林)